

滝窪小学校金丸分校適正規模地区委員会だより

滝窪小学校金丸分校適正規模地区委員会 令和8年7月1日 No. 2

第2回「滝窪小学校金丸分校適正規模地区委員会」が開催されました

5月28日(木)に「第2回滝窪小学校金丸分校適正規模地区委員会」を開催しました。年度が改まり、5名の委員が交代となりました。

今回の委員会では、令和8年度の状況を踏まえた滝窪小学校及び金丸分校の児童数、学級数の推移とともに、小規模校によるメリット・デメリットについての説明がありました。その後、前回の協議をさらに深め、主に滝窪小学校との統合の是非と課題、今後の進め方について話し合いました。その内容の概略は、以下のとおりです。

○新地区委員

No.	役職等	氏名	No.	役職等	氏名
1	学校運営協議会委員	井上 清次	4	学校運営協議会委員 大胡公民館長	須藤 健夫
2	学校運営協議会委員	藤井 浩	5	教頭	古口 晃敬
3	学校運営協議会委員	井上 千波	(役職は第2回委員会開催当時/敬称略)		

○小規模校によるメリット・デメリットについての説明(教育委員会より)

- ・メリット:「きめ細やかな指導が行いやすい」「一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい」「人間関係が深まりやすい」「異学年との交流が生まれやすい」「学校が一体となって活動しやすい」など
- ・デメリット:「切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」「学級間相互の連携や協力が難しい」「集団で行う教育活動に制約が出やすい」「多様な学習形態や指導体制がとりにくい」「人間関係が固定化されやすい」など

○協議内容

(1)統合の是非と課題について

- ・育成会の様子を見ていると、分校では地域の活動に支障をきたしていると考えられる。こどもにとっては、本校と一緒にの方が良い。
- ・こどものことを考えると大人数が良い。ただし、保護者が毎日送迎するのは大変なので、バスの運行など検討する必要がある。
- ・分校PTAの負担が大きくなる懸念があるので、本校と一緒に、負担の軽減を図った方が良い。
- ・中学に進学した際に、大人数の中でやっていくのは大変なので、早めに一緒にの方が良い。
- ・分校の授業では、異なる学年で一緒に授業を行っているが、できることが限られてしまう。
- ・分校の授業では、他のこどもの活動が見られないことが心配だ。対話的な学びが少ない。
- ・皆さんの意見を伺う中で、統合という大きな方向性が見えてきた。今後は、こどもの安全や跡地活用などを考えるとともに、金丸分校の文化や伝統をしっかりと後世に残すことも検討が必要だ。
- ・こどもたちへの説明は丁寧に行うべきだ。また、現在の保護者の思いをしっかりと聞く必要がある。など

(2)今後の進め方について

- ・(教育委員会)地区委員会として、委員長から教育長あてに報告書を提出していただくこととなる。これまでの協議を受け、報告書の作成に向けて、次回の会議で協議いただきたい。

○次回の開催について

- ・6月25日(木)に第3回地区委員会を開催する。

*協議の概要は今後も、この「地区委員会だより」で保護者や地域の方々に報告してまいります。そして、地区委員会では、保護者や地域の方々のお考えを生かしながら検討を進めていこうと考えておりますので、何かご意見がございましたら、前橋市教育委員会事務局または地区委員までご連絡ください。

◆「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針 改訂版」は教育委員会ホームページでご覧いただけます
(<https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kyoiku/gakumukanrika/gyomu/8/44584.html>)

<「地区委員会だより」も後日ホームページ上に掲載いたします>

◆問い合わせ:前橋市教育委員会事務局 学務管理課教育企画係 電話:898-6513 FAX:243-7190